

平成16年1月23日

中央社会保険医療協議会

会長 星野 進 保 殿

高度先進医療専門家会議

座長 猿田 享 男

既存の高度先進医療の取扱いについて

1. 保険適用とすることが適当な高度先進医療

以下の高度先進医療については、その普及性、有効性、効率性等に鑑み、保険適用とすることが適当と考える。ただし、適応症、実施する施設等について適切な条件を附することが必要であると考ええる。

1. 神経磁気診断装置による中枢神経機能異常の診断
2. フローサイトメトリーのTwo-color分析法によるPNHの鑑別診断表
3. 潰瘍性大腸炎に対する遠心分離法による白血球除去治療
4. 体幹部病巣に対する直線加速器による定位放射線治療
5. 肝癌に対する高周波焼灼療法
6. 生体部分肺移植術
7. 選択的副甲状腺PEIT

2. 高度先進医療としての承認を取り消すことが適当な高度先進医療

以下の高度先進医療については、その高度先進性、有効性等に鑑み、高度先進医療としての承認を取り消すことが適当と考える。

1. 直流電流による骨電気治療法

2. 完全埋込式頭蓋内圧計による頭蓋内圧測定
3. 経皮的コルドトミー
4. 埋込型精密持続注入ポンプ（フレオンガス使用）による肝動注療法
5. 羊水を用いた胎児血小板型の出生前診断
6. 腹腔内超音波プローブ及び腹腔鏡監視下のヒステロファイバースコープレーザー手術
7. 内視鏡下経膀胱瘻経尿道的アプローチによる膀胱内手術

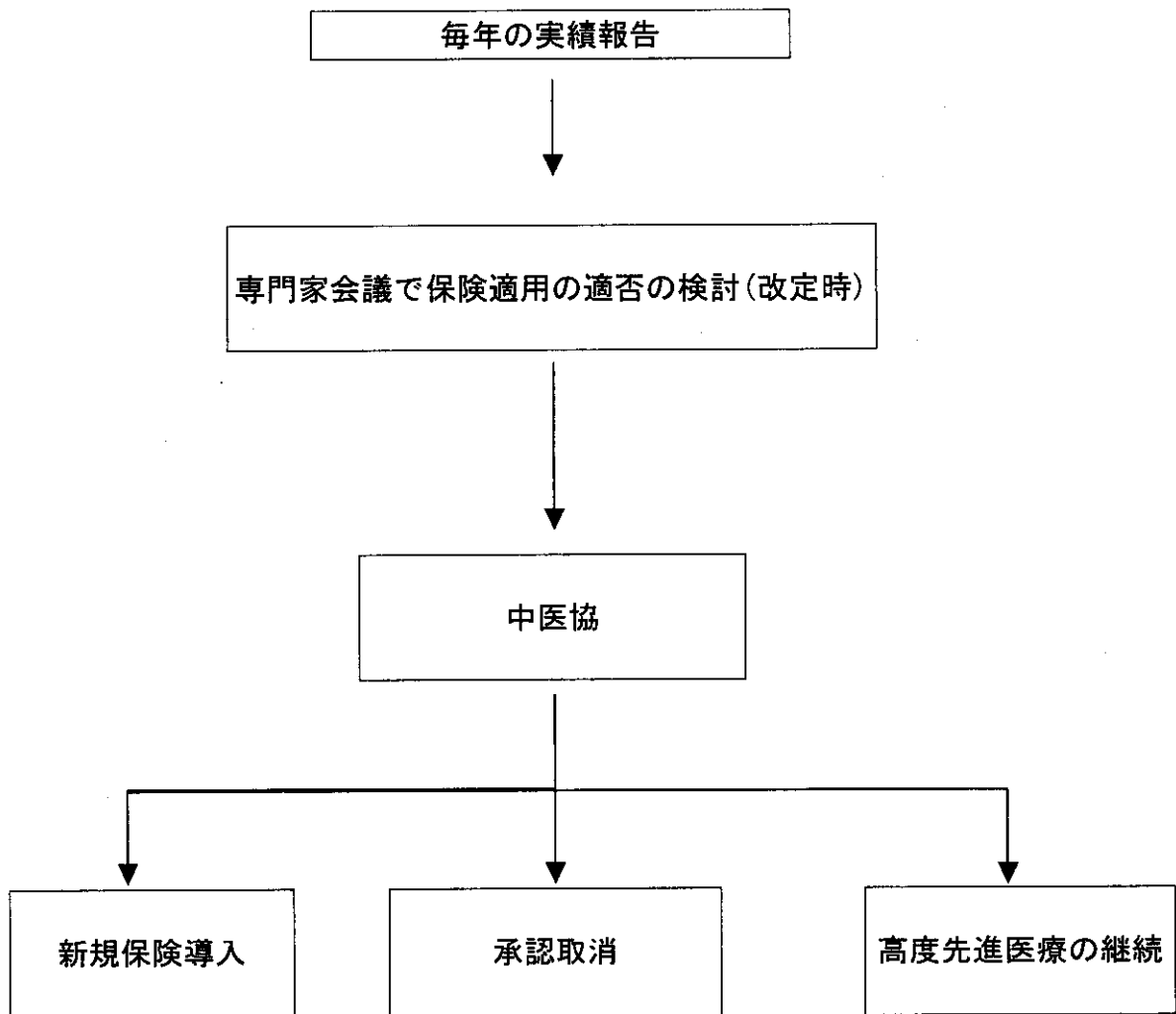
新規技術の保険導入、既存技術の適正評価

高度先進医療からの保険導入技術

	技術の名称	技術の概要	導入年月日	実施施設数	累積実施症例数
1	神経磁気診断装置による中枢神経機能異常の診断	てんかん、中枢神経疾患に伴う感覚障害および運動障害を対象とし、頭皮上から非侵襲的に測定された磁気を解析して、神経活動の位置を高精度で同定します。脳波と比較して、中枢機能の局在や以上神経活動の位置を高精度で診断でき、手術部位の診断や手術方法の選択に有効である。	平成5年5月	9	2042
2	フローサイトメトリーのTwo-color分析法によるPNHの鑑別診断法	発作性夜間血色素尿症（PNH）に対して、2種類のモノクローナル抗体によるフローサイトメトリー（Two-color分析）を行うことで、PNHの確定診断を行い、適切な治療方針を立てることが可能。	平成8年11月	3	48
3	潰瘍性大腸炎に対する遠心分離法による白血球除去治療	潰瘍性大腸炎を対象として、遠心分離法を用いて末梢白血球を除去することにより、薬を使用せずに潰瘍性大腸炎を治療する方法。標準的な治療法である副腎皮質ステロイドホルモンが無効であった患者にも効果があり、薬物療法が無効であった患者には手術回避と緩和導入の可能性を与える治療法。	平成10年1月	10	89
4	体幹部病巣に対する直線加速器による定位放射線治療	原発性肺癌、転移性肺癌、原発性肝癌、転移性肝癌、脊髄動静脈奇形に対して、病巣だけに放射線を集中することができ、正常組織への影響を減らし、患者に対して侵襲少なく治療が可能である。病巣の縮小効果も大きく副作用も減少する。	平成12年5月	5	127
5	肝癌に対する高周波焼灼療法	肝細胞癌、転移性肝癌に対して、ラジオ波発生装置を用いて、病巣を焼灼し治療する方法。低侵襲の手術で、早期の回復も得られる。	平成13年3月	3	149
6	生体部分肺移植術	難治性肺疾患に対して、2人の健常なドナーから、それぞれの片肺の一部を患者へ移植する技術。移植以外に治療法のない患者に対して、福音をもたらす。	平成15年2月	1	2
7	選択的副甲状腺PEIT PEIT (percutaneous ethanol injection therapy) ; 経皮的エタノール注入療法	二次性副甲状腺機能亢進症の患者に対して、超音波診断装置によって、腫大した副甲状腺を確認し、超音波ガイド下に穿刺し、エタノールの注入を行う治療法。副甲状腺ホルモンの高値に伴う疾患等（線維性骨炎等）の予防となる。	平成15年8月	1	調査対象外

高度先進医療技術の保険適用

○ 保険適用までの流れ



高度先進医療専門家会議においては、技術の普及性、効率性、有効性、安全性、技術的成熟度等を勘案し、改定時に保険適用の可否を決定する。

中医協においては、高度先進医療専門家会議の報告を受けて、審議し保険導入する技術、承認取り消しをする技術を決定する。